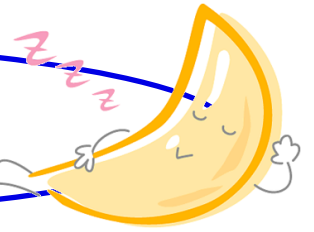




みなみとよた にゅーす



平成24年、2月3月合併号、Vol. 126

勉強会・講習会

認知症のケアと薬物療法

2月23日(木) ウィルあいち

久しぶりの日精看の研修参加で、少し緊張しての会場入りでしたが、おそらく私より年長者が半数はいた(?)印象で、増々緊張.....。

講義が始まり、認知症ケアに一番重要なのは“看護力”という言葉に目が覚め、その後“その人が生きる世界をいかにイメージできるか”“その人の脳の中に起きていることをどれだけイメージし考えることができるか”“その人の世界に合わせ、真剣にウソをつくことも大事”などなど、重要なフレーズがポンポン飛び込んでくる。あっという間の一日でした。

認知症の方のケアに限らず、精神疾患を持った方へのケアにも十分に当てはまることだと思います！



記憶が薄れないうちに病棟スタッフの皆さんに伝達し、効果的なケアとして患者様に還元できる様にしたいと思った研修でした。

精神科介護士、SST講習

11月14日(月)～11月18日(金) 慈雲堂内科病院(精神科)

昨年11月中旬に東京都練馬区にある慈雲堂内科病院で精神科介護士の講習会に5日間行って来ました。講習会には約50名程参加され、職種は、看護補助者や介護福祉士、ケアワーカーなど様々な方が集まっていました。

研修は主に実践が多く、体験を通して介助のコツと基本を学んだり、SSTのロールプレイを行ったりしました。その他にもレクリエーションや作業療法なども体験しました。

最終日には約600床ある病院内を見学する事ができました。病室から“富士山”“東京タワー”“スカイツリー”も見える絶景部屋もありました。

見学を終えると、日常の臨床場面で直面する事について全体でミーティングを行い、いろんな方と会話する事で、介護者としての役割を考えさせられたり、自分自身患者様に対して何をサポートできるかなど、自分を見つめ直した良い機会でした。研修で学んだ事を活かし、今後も患者様をしっかりとサポートできるよう努めていきたいと思っています。

SST・・・Social Skills Trainingの略。日本語では“社会生活技能訓練”“生活技能訓練”などと呼ばれています。



研究発表を行なって、印象に残った事・感想

勉強会や研修会は、院外だけではなく、院内においても行われており、ミーティングルームにおいても看護研究会が行われました。2月23日(木)の研究会、その発表者に発表を行った印象や感想を伺ってみました。



看護研究を終えて

南3病棟 看護師

今回、看護研究を行うにあたって、当初は、自分自身が初めての試みのことで「やります」と言ったものの、正直、本当にできるのかと、不安でいっぱいでした。看護研究の内容は、院内研修で行った危機介入について、又、病棟内の男子職員が危機介入場面に対してどの様に思っているか、心理的に焦点をあて、論文を作成しました。こんな中、やはり自分の不安が的中！！考えれば考えるほど全然進まない(汗)。そんな時、看護研究についての研修があり「これは行くべき！！」と思いき師長へ相談。「許可はもらったから行ってこい」と快く研修へ。

研修を聞き看護研究への思いが変化し、いざ作成。

実際に看護研究に取り組んでみると、普段いかに自分が本を読んでいないかが分かり、又、「自分を見つめ直す」「自分の引き出しを増やす」ということでは、看護研究を行って良かったと思います。

本当に引き出しを増やせたかどうかは分かりませんが、行って本当に良かったです。



北3病棟 看護師

今回、初めて研究発表に参加し、そして、発表までさせて頂きました。

不馴れな為、思うように発表は出来ませんでした。良い経験ができ、今後に生かしたいと思っています。ありがとうございました。

今回参加し、発表を聞いた感想として、改めて各病棟の違いについて学ぶ事が出来ました。

北1病棟では、“ADL低下” “身体機能低下”に伴う患者への看護の工夫。南3病棟では、危機介入、隔離室内での患者の看護。北3病棟では、入退院が繰り返される中でのヒヤリハット増加による改善点 など、病棟の特徴が発表にみられました。今回は、3病棟の発表しか私は聞くことは出来ませんでした。これは、発表した病棟の問題だけではなく、全病棟に当てはまることであり、病棟での工夫・研究が色々な場面で参考になると良い」と感じました。

私も患者様により看護が提供できるよう、日々学んでいこうと思います。



写真は、ミーティングルーム。

3月23日撮影。

ADL …… Activities of Daily Living の略。日本語では “日常生活動作” と呼ばれています。

2011年度 後期、院内発表を終えて

1日目の講演会について

2月15日、16日の両日に渡り後期院内発表会を行いました。まずは、職員の皆様のご理解とご協力に深く感謝申し上げます。

一日目の講演会では始めて外部講師を招くことを試みました。東日本大震災をテーマにそれぞれの立場として講師3名全ての講演がとても貴重な内容でありました。私たちは、震災の情報をテレビや新聞でしか知ることが出来ない中、やはり実際現地へ出向き支援活動をしてきた方の話はとてもリアリティがあり、震災の悲惨さや痛ましが心に突き刺さりました。しかし、そのような状況でありながら力強く今日も前向きに生きていこうとする被災者のたくましさには心打たれました。被災者たちに私たちが出来ることは何かを改めて考えさせられました。震災発生後に歌手の松山千春さんが言っていた「金があるやつは金を出せ。物があるやつは物を出せ。金も物もないやつは元気を出せ。それが被災者への力になる。」を思い出しました。

近い将来に発生が予測されている。東海、東南海、南海地震に備え、個人として、医療従事者として、南豊田病院として、一人の人間として何が出来るか、何をすべきかをそれぞれの立場で考える良い機会となり成果はあったと実感しています。

南豊田病院 院内発表委員会 委員長

※ 今回お招きした講師の方より、精神科医師の立場から、看護師の立場から、救急救命士の立場から、震災直後の被災地支援における貴重なお話を聞かせて頂きました。その中で特に印象深いのは、救命士の方の「当時の映像を見ると、今でも、あの時の砂利や潮の臭い、口の中がじゃりじゃりした感じがよみがえります。」というリアリティの高い一言でした。被災地支援に行っていない我々は、被災地の臭いを感じることは出来ませんが、各講師の方々の貴重な「胸に染みいる一言一言」を感じ、真剣な眼差しで講義を受けていました。



北(開放)ホール前
中庭、にて



※ お花の写真は、3月14日に撮影したものです。

心と体のレクレーション活動

北1(開放)、おひなまつり会

3月7日(水) 北1東ホール 14名参加

皆さん、この写真を見て下さい。
患者様とスタッフの共同作業ででき上がった
"ちらし寿司"です。とてもはなやかで春らしい
でしょ♡ 女性の方から[ワ〜]と歓声が上が
りました。



4日遅れのひなまつり。庭には菜の花が咲き、ポカポカした春らしい素敵なひと時でした。

次のレクには何が食べれるか...「次はバーベキューね」と花より団子のMen'sの一声。ムードが...

※ 菜の花の写真は、3月14日に撮影したものです。



北1(開放)、新年会

1月19日(木) 晴天 北1東ホール 16名参加

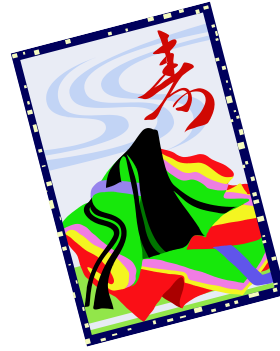
今年初めての病棟レクで、甘いものが大好きな患者様は、とても楽しみにしていました。前日からお汁粉・お漬物作りを手伝ってくれる 女性の患者様もいました。当日、机のマッチングなど協力してくれ、スムーズに準備ができました。会がスタートし、歌を1曲歌い和んだ雰囲気となり、お汁粉が配られると、みんな「おいしい」と笑顔で食べていました。糖尿病の患者様がいらっしゃるということもあり、お汁粉は1杯しか食べられず、残念そうにする患者様もいました。片付けもみんなで協力し、スムーズに会を終了することができました。



北1（閉鎖）、1月2月、誕生日会

2月18日(土)
北1ホール
30名参加

私が先だよ



ハイ!

どうぞ

たくさんの患者様の参加もあり、元気に！楽しく！トラブルにもなる事もなく、「カルタ取り」をする事が出来ました。大きな声で「ハイッ！」と返事をし、手が重なると「私が先だよ」「どうぞ」と、声をかけ合う事もありました。患者様どうして会話を楽しみ大声で笑っている表情や声が印象的でした。

また、おやつでは饅頭を食べ「久しぶりに甘い物を食べた」「うれしい」との言葉も聞かれました。

北1病棟で赤鬼がやってきました。



※ 2月3日午後、北1病棟に、と一つもフレンドリーな赤鬼さんが現れました。

北2、カルタ大会

1月12日(木) 南2階ホール 5名参加

新しい年になり、北2階で初のレクである「カルタ大会」を行ないました。

当日の大会までに、スタッフ・患者様と力を合わせ、1からカルタを作りました。ダンボールや和紙を材料に、カルタのもととなる物を作ったあと「本来のカルタ」を貼って作りました。数も多く大変でありましたが、患者様や北2のスタッフの方々にも協力して頂き、カルタを完成させる事ができました。

大会当日も患者様と一緒にスタッフも参加し、熱い大会になりました。

大会終了後は、患者様に内緒で作っておいた、豆腐で作った「白玉ぜんざい」を、スタッフと共に食べました。

今回のレクで、患者様とスタッフとの関係がより良くなり、全員で楽しい時間を共有することができました。

北2、バレンタインデー&ホワイトデーのスイーツ作り

2月14日：バレンタインデー

3月13日：1日早いホワイトデー

バレンタインデーとホワイトデーに『日頃の感謝の気持ちを伝えよう!』とスイーツを作りました♪当初はバレンタインデーは病棟の男性患者さんへ、ホワイトデーは病棟の女性患者さんへプレゼントする予定でしたが、「受け持ちのナースやドクターにあげたい」「家族のために作りたい」という声も聞かれ、希望する方は病棟スタッフや主治医、家族にプレゼントすることになりました♪

さて、まずは参加希望者で何を作るかを話し合い。初めて行う活動であり、最初は6人程度の少人数。しかし、話し合いに参加していない人も気にはなるようで様子を見に来る人もみえました。話し合いではデイケアでのお菓子作りを経験していたAさんが大活躍。

そして、スイーツに添えるメッセージカード作り。スイーツ作りにはなかなか一歩が踏み出せない方もメッセージカードは書きたいと参加。みなさん色々なメッセージを書いていたのですが、いつものカード作りではなかなかメッセージがかけずに詰まってしまうBさんも以前いた病棟のナースの名前を書いてメッセージを書いたり、Cさんは息子や娘に対して父親らしいメッセージを書いたりなど、いつもとは違う患者さんの一面が見えました。

いよいよ2月14日のバレンタインデーのチョコ作り。バレンタインは女性の参加が多いかと思いきや男性の参加も。落花生の皮を300gひたすらむくというところから始まったせいか、当初はどうなるのかという雰囲気は患者さんに漂いましたが、チョコの作業が出てくるとみんな作る気力もアップ。ここでもAさん、また主婦経験のあるDさんなど経験のある方たちが主となり、作業をひっぱっていてくれました。

完成後は作った人で病棟の男性患者さんにプレゼント。それまで「しょもない」「いらないよー」と言っていた男性患者さんもいざもらうと嬉しそうに食べている方も。作った人もその反応を見て嬉しそうにしていました。

そして、3月13日(1日早いですが…)のホワイトデーのカップケーキ作り。前回、チョコをプレゼントしてもらったためか、今回はさらに男性の参加者が増えて3グループに分かれて行きました。新たに参加することとなったEさんや前回活躍していたAさんやDさんが主となり、ホワイトボードに書かれた材料ややり方も見ながら作っていました。それぞれ「うちのところが1番だよ」とこそっとスタッフに言っていたのはこちらとしてはとても面白かったです。

今回も完成後は手渡してプレゼント。男性から女性へというのは恥ずかしさもあるのか、照れくさそうに手渡している人、直接自分で手渡したいと部屋や詰め所前で出待ちする人…それぞれの想いが詰まった日になったように思います。



※ 写真は、3月13日、
ホワイトデーの時の
です。

北2、節分会 ～恵方寿司を食べて1年幸せに暮らそう～

日頃は食べられない刺身の入った恵方寿司。値段は少々張るが「1年に1度の事だから」と、嬉しそうに頬張る人。ただ黙々と食べる人。詰まりそうな人は、事前に切っけてあげてあった為、無理なく食べられました。

余興としてボール投げを行ない、患者様同士の交流あり、楽しく過ごす事が出来ました。

2月2日(木)

雪 ❄️ ←雪だるまのつもり

23名参加



南3、女子会

2月23日(木)

雨のち曇

浜木綿

7名+スタッフ3名 参加

2回目の女子会。院外レクに常連のメンバーも居れば、初めての参加者もいました。歩くのに自信のない人が多く、タクシーを利用して現地へ向う。今回は、中華料理を楽しんだ。浜木綿のランチメニューの中から、それぞれ好きな物を注文し、ワイワイおしゃべりをしながら、美味しく食べたが、中にはチリソースが辛くて苦労した人も居た。満腹した所で女子達は、目の前のしまむらへ移動、くたびれて休憩して過ごす人も居たが、大半は、忙しく試着するなどして、望みの物をゲット、満足して帰院した様だった。

第4回、Winter Party

2012年3月3日(土)

社会復帰施設アーム1階 地域交流室

今回の Winter Party では、刈谷を中心に西三河で活躍されている「キャリアズ」さんをお迎えし、Spring concertとして、約10曲ほど歌を歌っていただきました。

患者様も聞きなれた曲が多かったようで、口ずさみながら手をたたいてリズムを取っている人や、一緒に歌っている人など、キャリアズさんと会場が一体となって、楽しい時間を共に過ごすことができました。何より、患者様1人1人が楽しそうな様子で、笑顔も多く見ることができました。

また、患者様にも多く参加していただき、スタッフとのコミュニケーションを図る場としても「良い場」ができたのではないかと思います。音楽を通して、一体となり、会場全体で共に楽しい時間を過ごすことができ、本当に良かったと思います。



※ キャリアズの皆さん、素敵な演奏をありがとうございました。

野球部活動報告

《少年野球チームとのふれあい》

1月29日(日)、少年野球チームを2チーム迎え、野球部主催の野球教室を開催しました。守備指導や外野守備合同練習、バッティングやバントの披露、また、ゲストを招き、グラブのお手入れ講座も行われました。



集合写真

初めての試みとなりましたが、地域貢献を目的に、また、野球の楽しさを子供達と共に感じ、充実した一日を送る事ができました。



守備指導



ゲストを招き
グラブのお手入れ講座



バント披露

《東海五県軟式野球大会 愛知県予選》

3月15日(木) 熱田球場にて

第1回戦

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
南豊田病院	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
イスコジャパン	4	0	0	0	1	0	0	0	×	5

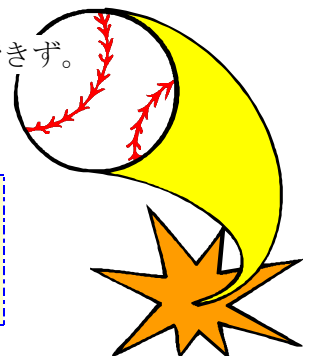
《バッテリー》 伊藤・宮川 - 藤倉

1回表、柴田・平井秀のヒットでチャンスを作り、三浦の叩きで先制。

1回裏、四球、野選、四球で満塁のピンチ、レフトフライを目測誤りヒットとなり、ランナー全てを返す。その後、タイムリーも浴び、この回逆転を許す。

2回3回表と1アウト3塁のチャンスを作るも、叩きに失敗などで得点できず。

5回裏には追加点を奪われ、追い上げられず。



昨年末より、残念な結果が続いています。

5月6月には、全国へつながる大会があります。

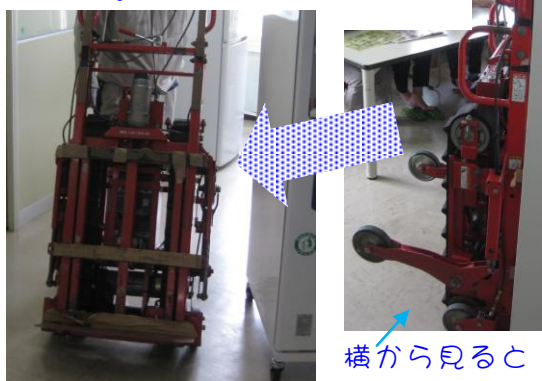
全員で力を出しきれるよう頑張りますので、応援よろしくお願いします。

南3・東3病棟に 自動販売機の 搬入が行われ ました。

「皆さん、この位置でいい
ですか？」という、主任さ
んの問い掛けに、南3の患
者さんの「うん、いいよ」
というにこやかな返事が聞
かれました。



今回の搬入では、厳しい搬入事情が
あり、写真のような道具の登場とな
いました。



横から見ると
こんな感じ。

入口の高さには、
どうしてもかない
の制限があるので、今回の搬入で
見た最大傾斜で通
います。



この先、南3病棟



階段にも、1段1段テープを張る心配い。



この段差にも鉄板が置かれ、細かな配慮が
うかがわれました。

写真は、3月30日の午前中の様子です。

今回行われた自動販売機の搬入は、南3病棟に1台、東3病棟に1台、合計2台です。
狭い場所での搬入、しかも階段を上げないといけません。自販機の通過もほぼギリギリ。特に階段の踊り場での方向転換では、業者さんがかなり苦労している様子でした。

次の日の午前中、病棟のナースに使用状況を伺ったところ、南3病棟(女子病棟)では「すでに(空き缶用)ゴミ箱の3分の1くらいが空き缶で埋まっています。」との事。また、東3病棟(男子病棟)では「南3以上でしょうね。」という返事が返ってきました。

平成 24 年 4 月 2 日よりの当院の“外来診察医師表”です。

医師の外来診察曜日に若干の変更がありました。精神科医の外来診察医師表を掲載します。

診察室	月	火	水	木	金	土(隔週)	
第1	鈴木	加藤	加藤	森	所	加藤	鈴木
第2	白幡	所	鷹羽	白幡	森	所	森
第3	安田	鈴木	安田	足立	鷹羽	安田	白幡
第4	足立					足立	鷹羽



※ 外来の“診療日”、“休診日”、“受付時間”、“診察時間”、“初診(新患希望)”等につきましては、基本的に南豊田病院のホームページに掲載されています。

<http://www.minamitoyota-hp.or.jp> よりアクセスしてください。

※ 上記表の医師名、黄緑塗りつぶしは、再診の方の場合でも“予約制”になります。

※ 上記表の医師の診察につきましては、都合上変更する事がございます。ご注意ください。

平成 24(2012)年 4 月 現在

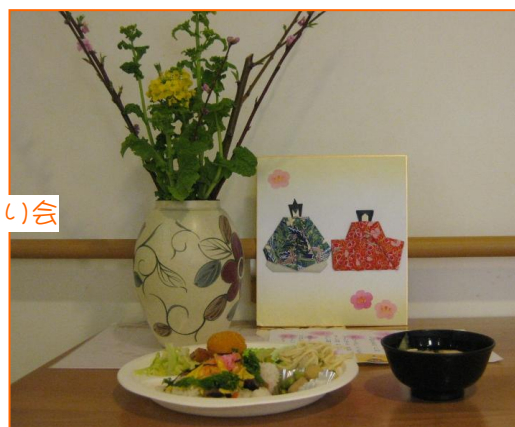


1月25日、南3、新年会



2月1日、南3、恵方巻き

3月7日
北1(開放)
おひなまつり会



編集・発行：医療法人豊和会 南豊田病院 広報委員会

〒470-1215 豊田市広美町郷西80
Tel 0565(21)0331 Fax 0565(21)0508
ホームページ <http://www.minamitoyota-hp.or.jp/>

南豊田病院の院内新聞
より対外用に抜粋および
編集しました。